

四季報

はるか

2021. 5月 No.137



新年度に思う



理事長
渦尻敬治郎

新型コロナウイルスが蔓延し私達の生活
 様式が一変する中、新年度がスタートし三
 善会は6名の新職員をお迎えしました。
 今正にコロナ禍の真直中にありますが、
 清々しく前向きに進んでほしいと思ってい
 ます。

さて三善会は、このたび創立30周年を
 迎え記念事業として特別養護老人ホーム
 「ぎおん」をJR八多喜駅前建設し、福祉
 の町作りに取り組んで参ります。

オープンは今秋10月を予定しております
 が、人手不足が厳しい折から「シニア活躍
 推薦宣言」を行い、シニアの方々との関わ
 りを深めて「ぎおん」に人が集い、賑わう
 架け橋になれるように努めて参ります。

地域の皆様におかれましては、どうぞよ
 ろしくご支援の程お願い申し上げます。

コロナ禍に思う

利用者代表 井上良一



昨年の1月の中旬ごろにコロナウイルスという新型のウイルスが日本に上陸して、最初は少ない情報の中で感染が徐々に拡大をしていき、今では全世界中で感染が拡大して、いて多くの感染者と死者が出た状態となっています。感染された方には心よりお見舞い申し上げます。そして亡くなられた方には心よりご冥福をお祈り申し上げます。タレントの志村けんさんが亡くなられたことで一気にコロナウイルスの恐怖が皆さんの心に衝撃を与えたのではないのでしょうか。コロナウイルスの怖さの一つが無症状でも感染をしていること。私たち施設で生

活をしている利用者さんは平均年齢も高く、基礎疾患を持たれている方も少なくありません。少し落ち着いた時期に施設と家族会の役員さんで話し合い、利用者さんも外出自粛で息が詰まるであろうからある程度の条件を付けて外出の緩和の話ができました。しかし、自治会のほうからまだリスクが高いので継続して外出自粛を続けようという決断をされました。それから1年3か月、不要不急の外出の自粛という名の外出禁止が続いており、施設の中での缶詰め状態が続いております。ストレスは測りしれません。施設という特性上、致し方ない措置なのかもしれません。実際、全国的に医療施設や高齢者施設でクラスターが起こっているのも事実です。そういう生活強いられる中でテレビ等の報道で人の往来が多いところにもややもした気持ちになります。施設では食事も提供されますし、必要な日用品な

ども自治会で販売しています。必要であれば買い物代行サービスを利用して、自治会では販売していないものの買い物を頼んだりもしています。施設内も感染予防対策として設備投資をして頂き、やり過ぎではないかと思われるような感染予防対策ガイドラインを作成されているので、それに従わなければならない。施設にウイルスが入ってくる可能性が高いのは、やはり外部からの持ち込み。私たちが不要不急の外出の自粛をしているようにスタッフも持ち込まないような生活をしていると聞きます。かなり月日が経ち様々な情報もわかってきました。日本は遅れていますが世界ではワクチンの接種も進んでいます。なかなか先行きが見えないのでこの体制がいつまで続くのか不安もいっぱいですが、しかし、この先明るい未来が来ることを信じて感染予防対策をしっかりとしていかなければいけないのだと思います。

コロナ感染対策

顔認証温度検知機の設置

事務局長 藤原誠人

当法人では「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業」を活用し、感染症防止のための環境整備に取り組みました。

記

- ・加湿付空気清浄機12台
 - ・顔認証温度検知機2台
 - ・オゾン発生装置11台
 - ・デスクスクリーン30枚
- など様々な物品を用意することができました。

これにより利用者はもちろん職員も安心して働ける職場環境が整いました。

新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業」は、感染症対策を徹底しながらサービスを提供するために必要な経費の補助が受けられる制度です。



大洲ホームの玄関に設置した「顔認証温度検知機」と「手指消毒」

御利用者と共に 30 年の軌跡

大洲ホームは社会福祉法人三善会を経営母体として平成3年にオープンしましたが、開設に当っては70市町村を回って50名のご利用者をお迎えしました。

第1番の入所者は、東一郎さんで爽やかな一句を贈って下さいました。

秋晴れや第一番の

入所者に

あの日から30年の歳月が流れ、大半の方が亡くなりましたが、転出された方もあつて、7名様は30周年を迎えられました。

平高浩二さんは、俳句作りに才能を発揮され秀作を輩出されるようになり、三井かおりさんは、大洲ホームが受賞した愛媛放送奨励賞の顕彰式で花束贈呈の大役を務められました。

菊池薫枝さんは、89才になりましたが、お元気でおしゃれを楽しんでおられます。

亡くなられた方で異彩を放つのは、詩集作りで多くの傑作を残された稲垣啓子さん、ピアノを大洲ホームに寄贈して下さった坂本豊子さん、大洲ホームで成人式を迎え祝福された薬師神丈男君の思い出や、共に暮らしたご利用者の軌跡が偲ばれます。



菅原研二 様

東 一郎 様

竹内平市 様

菊池薫枝 様

平高浩二 様

三井かおり 様

片山純二 様

私の30年

利用者 平高 浩二

私は35才まで両親と暮らしていましたが、大洲ホームのオープンと同時に入所しました。

日中活動では、俳句教室に入り俳句を作る楽しさにはまりパソコンに入力するようになりました。

また、夢にまでみた東京見物は、コスモボランティアのご支援で正夢となり北海道そして沖縄までも観光することができました。



コスモボランティアと沖縄旅行

大洲ホームの暮らしも、早いもので30年がたち高齢者の仲間入りして介護員さん頼みになりました。

これからは、理学療法士さんのリハビリや生活介護を利用しながら穏やかに過ごしたいと思っています。

解説動画の作成

理事長 渦尻敬治郎

令和2年度は、全国身障協議会の調査研究委員のメンバーとして、個別支援の実現に向けたケアガイドライン（動画を含む）作成に多くの時間を費やしました。



オンラインによる Web 会議

今年度は、障害者権利擁護の視点も取り入れ、利用者支援の手引書を作成しました。

会議は、3密を避けてオンラインに依るWeb会議の方式で行われました。手引書のポイントは、ケアガイドラインの一部をポイント解説し、DVDに映像化して介護員の皆さんが活用しやすいように工夫しています。

節分祭

今年の節分は、例年より1日早い2月2日でした。

それは、地球が太陽の周りを公転する周期が365日ぴったりではない為に起きる現象だそうです。

今年の恵方は南南西！

鬼は外 コロナも外と

鬼やらい

平高浩二

ご利用者は、調理員手配の恵方巻を頂きました。



節分が過ぎると立春、コロナの収束を節に願っています。

利用者作品集

大洲ホーム文芸

大洲ホームの俳句教室は、清水先生をお迎えして毎月開催されています。

今回は冬から春にかけての利用者作品を紹介させて頂きました。



清水先生の俳句教室

初銀河生きてく勇氣ありがとう

徳山 聡

義理チョコを数えて競う男子達

高田 栄作

もうひとつ見れば初夢成就する

植田 勝芳

双六で上がる直前攻防戦

高田 栄作

うぐいすや ほ、ほけきようと得意顔

寺田 聖子

梅みごろウグイスの声待ち遠し

山本 松義

※玄関の梅の古木が満開になりました。

菜の花の黄色絨毯車から

池田 有子

まどろみてまどろみて春入院中

平高 浩二

春つばめ今年も来いよ弟宅へ

二宮 美幸

春の健康診断

3月
11日

大洲ホーム看護師 大下 美奈

春の健診車が大洲ホーム玄関に横付けされ、ご利用者と三善会役職員がレントゲン、心電図、血液、聴力等の検査を行いました。



健診結果は、大洲ホームのナースセンターで一括保管し、嘱託医の菊原先生に報告して健康管理を行います。

役職員の健診結果は、産業医の大野先生に見てもらって適切な健康管理を行います。

こまどり号歯科検診

大洲ホーム看護師 久保 早百合

こまどり号歯科検診が行われました。この検診は県が毎年行っているものです。入所者、通所利用者計47名が検診を受けました。

今年は密にならないよう距離を保つことを意識し、混雑することなく行うことが出来ました。全体的に歯磨きもよく出来ているとお褒めの言葉をいただきました。

口を清潔に保つことは感染症予防にも繋がりますので、これからも虫歯ゼロを目指し支援していききたいと思います。



こまどり号歯科検診

移動スーパー車 とくし丸

利用者 井上 良一

コロナ禍でショッピング外出を自粛している中、JA移動スーパー車が大洲ホームに立ち寄って下さいました。



移動スーパー車の買い物

利用者の皆さんはタイムリーな訪問販売におおよろこびで、久々の買い物を楽しまれました。

移動販売車には、生活必需品が沢山積み込まれていて、利用者は「どれにしようか?」と迷いました。がら好みのものを買いました。

新職員
抱負を語る

● 作業療法士 窪 祐樹



四国中央市にある精神科の病院で勤務していました。が、少しでも地元に貢献したいと思い大洲市に戻ってきました。身体障害の領域で働くのは初めてで不安な事も多いですが、利用者さんに寄り添い、目標達成に向けたリハビリの提供や支援が出来るよう一日一日を大切に頑張ります。

作業療法士とは食事、入浴など応用動作の回復治療を行います。

● 管理栄養士 和田佳歩



4月から大洲ホームに入職した和田佳歩です。

大学で栄養学を学び、管理栄養士として1年間病院で勤務していました。施設で働くのは初めてですが、食事を通してご利用者様と関わりながら、自分も一歩一歩成長していきたいと思っています。分からないことも多いですが、ご利用者様のよりよい生活の手助けができるよう努めて参りますので、よろしくお願ひ致します。

● 生活支援員 柳 尚也



大洲農業高等学校を卒業しました柳尚也と申します。趣味はテニスをする事です。よく友達とテニスをしに行きます。

高校卒業のため、福祉に関しての知識、技術共にまだまだ未熟なのでご迷惑おかけすることも多いかと思いますが利用者様のためにも精一杯頑張りますので、よろしくお願ひ致します。

● 生活支援員 玉井弓子



植草学園短期大学専攻科介護福祉卒業生です。趣味はお菓子やパンを作ることです。

以前、保育士をしていた時に介護施設のボランティアに参加し介護の仕事に興味を持ちました。

その後、介護の学校を卒業し介護福祉士の資格を取得しました。大洲ホームへの入職は、保育士の資格と介護福祉士の資格を活かした仕事をしてみたいと思い志望しました。

障がい者施設で働くのは、初めてで戸惑うこともあるかと思いますが利用者様の笑顔のために精一杯頑張りたいと思いますので宜しくお願いします。

● 生活支援員 松岡しのぶ



私は特別養護老人ホームで20年間働いていました。充実した日を過ごしていましたが、今度は別の施設で勤務してみたいと思い、この大洲ホームで勤務させて頂く事になりました。優しい笑顔の職員さんや御利用者様と笑顔を大切に、日々を一緒に過ごせたらと思います。

まだまだ至らない事も多いと思いますが、一日一日を大切に、御利用者様のために精一杯頑張りたいと思います。宜しくお願い致します。

● 介護員 菊地美恵



4月からデイサービス勤務となりました。

以前は訪問介護をしてましたが、約6年ぶりの復帰となりました。

デイでは一度に大勢の方と関わるので訪問との違いを感じています。明るく元気な利用者さんに「頑張つて！」と励まされ、こちらの方が元気をもらっています。

そんな皆さんと一緒に毎日楽しく一日を過ごせたらと思っています。

ストーンアート教室の 西山先生が引退

西山勝善先生が引退されました。

西山先生には、大洲ホームの玄関にストーンアートの壁画をお願いしたのを機に、平成9年からストーンアート教室を開催して頂くことになり、爾来四半世紀の長きに渡り熱心にご指導を頂きました。

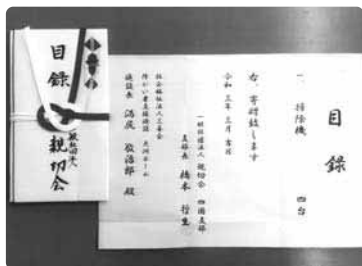
コンセプトは「明朗・輝き・集い」を謳い、心のリラクゼーションを暫し童心に帰る大人の憧憬として演出して頂きました。

大洲ホームの玄関を彩るメモリアル'98「希望の灯火」は、渦尻理事長宅にあった柿の古木で製作して下さったもので、大洲ホームの歩みと共に永遠に語り継がれる傑作となりました。



モニュメント'98「希望の灯火」は西山先生の作品です。写真右が西山先生

利用者及び職員が清潔な環境で過ごせるように使用させて頂きまして、ありがとうございます。



は「小さな親切」がモットーで、明るく思いやりのある世の中になるよう活動されているそうです。この会の活動の二本柱として「親切運動」と「福祉活動」があり、今回は困っている人達を助ける福祉活動として寄付して頂きました。

卒業！！退職します。

3月31日

グループホームはるか所長 西本 恵子

平成3年9月、近所のおばちゃんが大洲ホームの介護職として働く事になりました。

素人ばかりで、右往左往一生懸命に取り組みました。

3年の経験を積み介護福祉士の資格取得。大人になってからの資格取得はエネルギーがいりました。

子供達や、まわりの人達の手助けや協力を得る事ができたので、今迄続けられました。

近所のおばちゃんから、介護のおばちゃんに足掛30年、今回退職し卒業です。

よき思い出いっぱいです。

三善会のさらなる飛躍を願って フレーフレー！お世話になりました。



理事長より花束贈呈

西本さんは大洲ホームの開設準備から今日まで、30年に渡りお務め頂きました。

当時は数少なかった介護福祉士とケアマネジャーの国家試験に挑戦され、一発で合格され寮母長として活躍されました。

60才の定年退職後は、特別職員としてグループホーム所長を歴任され、70才まで務めて頂いたシニア活躍推薦宣言の第一人者でした。

掃除機の寄贈

事務長 藤原 誠人

日立が関連する「一般社団法人親切会」から掃除機を寄附して頂きました。親切会で



一般社団法人 親切会より日立掃除機4台寄贈

ハラスメントの 防止について

事務長 藤原 誠人

当法人では「パワーハラスメント」「セクシュアルハラスメント」「妊娠・出産育児休業等に関するハラスメント」の防止・対策について規定を制定しました。



仕事をしていく中で関わる取引先等の人達も含め、職場での様々なハラスメントは職場の秩序の乱れや業務への支障が生じたり、貴重な人材の損失につながる大きな問題です。お互いを尊重しハラスメントのない職場作りをすることで風通しの良い職場環境となり、今後の事業の安定と継続につながるものだと考えております。

居宅介護支援事業所便り

Web会議に参加

ケアマネジャー 中岡 越子

コロナ禍の今、密を避ける手段としてWeb会議が用いられています。インターネット環境があれば、場所や時間を問わず画面越しにコミュニケーションが取れ、集まる必要がありません。移動時間や交通費のコスト削減にもつながりメリットが多々あります。研修に出向いていた私達にとって慣れない会議の形であり不安はありましたが実際に参加し、思いのほかスムーズに参加できるものであると感激致しました。今後も業務の効率化を目指してうまく活用できればと思っています。



生活介護（通所を含む）便り

● 祝！成人の日

サービス管理責任者 城本 直也



「西岡恵里さん おめでとうございます！」

この度、大洲ホームをご利用して頂いている“西岡恵里さん”が成人の日を迎えられました。

西岡さんは平成21年(当時9才)から大洲ホームを利用し始め、すでに10年以上が経過致しました。

幼かった西岡さんが成人の日を迎えるにあたり、職員一同で寄せ書きを作成し手渡しました。

これからも一人の女性として、素晴らしい人生を歩まれる事を願っています。

● 通所介護の利用者紹介



やす ひろ たか ゆき
安 廣 隆 之

「12月から週3回、大洲ホームに通う事になりました、安廣です。八幡浜から来ています。よろしくお願いします。」

デイサービスセンター 春賀便り

コロナ禍^かの節分祭

介護員 長井 二三

デイサービスセンターの白壁に赤鬼・青鬼のイラストを描き、節分祭の準備が整いました。

2月
3日



デイの節分祭

コロナ撃退！ 福は内！
利用者さんは、ここぞとばかりにコロナをやっつけたいの願いを込めて、無病息災に願いを込めて厄除けをしました。

を込めて厄除けをしました。

はるか喫茶

介護員 荒木 文子

デイサービスのご利用者に、はるか喫茶を企画してお茶を楽しんで頂くことにしました。



はるか喫茶

職員の入れたお茶を囲んで、顔見知りの方との話が進み心おだやかに過ごして頂くティータイムです。

それは、リハビリテーションにも匹敵する心のリラクゼーションです。

◆新職員紹介



デイサービスセンター春賀
作業療法士

亀岡 一 敏

5月1日より勤務しています。
食事、入浴など応用動作の回復、
向上の治療などレベルの高いサービス提供を行います。

3月
11日

周辺散策

介護員 城本 明穂

リハビリ公園のシャクナゲやソメイヨシノが満開となり美しい季節となりました。

今日はとてもいいお天気となり、誘われるように周辺の散策を楽しみました。

コロナ感染が心配ですが、しっかり感染予防をしてほんのしばしの間、お花見を楽しみました。



大洲ホーム玄関のソメイヨシノが満開になりました

グループホームはるか便り

3月13日 リハビリ公園で深呼吸！

介護員 好崎 貴秀

ぽかぽか天気誘われて利用者さんがリハビリ公園でひなたぼっこを楽しみました。



リハビリ公園で深呼吸！

コロナ禍の昨今、利用者の皆さんは冬籠りを余儀無くされていましたが、久し振りに外に出て春の陽気を満喫しました。

利用者さんは両手を広げて深呼吸！「気持ちいいネ！」お日様に当って今夜はぐっすり眠れそう！

2月10日 96才のお誕生会

介護員 中岡 ゆき

利用者さんが、96才の誕生日を迎えられ、みんなでお祝いをしました。

バースデーケーキは、大きいホットケーキにリンゴやみかんでデコレーションして、職員が心を込めて作りました。

ハッピーバースデーの合唱に、利用者さんはニコッと微笑まれました。

96才！
ハッピーバースデー

春の息吹

介護員 好崎 貴秀

「ご近所様から「つくしが沢山とれたよ！」心温まる差し入れがありました。



つくしの袴取り

「懐かしいネー」利用者の顔が一瞬にしてほころびました。

早速、つくしの袴を取り、玉子とじにして旬の味覚をみんなで頂きました。

御馳走様でした。

春賀の大将の送別会

介護員 平岡 喜代美

30年の長きに渡り頑張つて来られた、西本所長が退職される今日、ささやかな送別会を行いました。日本のお母ちゃんキャラで「はるかの大將」的存在でした。皆を楽しませ、



西本所長の送別会

側にいるだけで安心でした。体調をくずし小食になり、痩せて行く姿に心配もしましたが、体重が戻って一安心。感謝状や寄せ書きで皆の気持ちで「ホロリ」ではなく、大笑いの楽しい送別会となりました。

西本所長お疲れ様でした。ありがとうございました。

グループホーム 春の風便り

節分祭

介護員 石山 友美

今年の干支は^{えと}丑。恵方は^{えほう}南南西。例年より1日早い2月2日でした。



利用者さんは赤鬼に向って豆をまいて厄払いをしました。
コロナ禍の気候の変わり目、ご利用者の無病息災をお祈りしました。

桜もち作り

3月
22日

コロナ禍でお花見も自粛している昨今、気分転換に桜もち作りを企画しました。

利用者さんはみんな桜もちが大好きで、気分も晴ればれ！

しっかりと感染予防をして桜もち作りを楽しみました。

ほんのりと匂う手作り桜餅

ご自分で作った桜もち好評で、あっという間に完食でした。



桜もち作り

魔除けのアマビエ作り

介護員 石山 友美

コロナ禍で利用者さんにはステイホームをお願いしています。

今日は、気分転換に創作活動でコロナ撃退のアマビエをみんなで作りました。



アマビエ制作中の利用者さん

完成したアマビエは、魔除けとして玄関に展示しました。

自粛しています 家族との面会

介護員 長壁 新

コロナ感染の大波が次々と押し寄せるたびに家族との面会を規制しています。

ご面会はデスクスクリーンで仕切り、短時間での面会をお願いしています。



デスクスクリーン越しの家族との面会

今は3密を避け、ホームステイに協力して一日も早いコロナ勝利宣言の日を待ちたいと思っています。

リレー随想

キジの残したもの

介護員 平岡喜代美

86才のばーばの

生きがいは猫。

「マロン、モス」

と外で遊び回って

いる猫達を毎夜迎えに行っています。

「うちがおらんといいけん」と口癖です。

3年前に亡くなったオス猫のキジは、さすらいの旅に出て帰って来た時にはデブ猫姿。重度の糖尿病との苦しい戦いが始まりました。家に閉じ込め病院通いの4年間、「助けてくれよ!」と戻ったはずと、点滴での延命治療の苦悩の最期でした。

今は、やり手のキジが残してく

れた嫁猫のマロンと子供、モスが、ばーばの生きがい。



三善会子育ても応援しています



少子高齢化が顕著に進んで行く日本。

三善会はいひめ子

育て応援企業として

認証され、お母さんの子育てを応援しています。

産前、産後、育児休暇と続く1年有余の長期休暇は、企業に取って決して楽なものではありませんが子育てを第一義に仕事との両立を推進しています。



当法人への寄付金は税制上の優遇措置が受けられます。

- 河原学園様 (松山市)
- 山田剛様 (内子町)
- 角石高春様 (八幡浜市)
- 坂口幸恵様 (保内町)
- 伊方町社協様 (伊方町)

ボランティア

- 竹内カメ子様 (伊方町)
- 坂田安香様 (八幡浜市)
- 中村久次様 (長浜町)
- 宮西輝光様 (八幡浜市)
- 浦山幸美様 (今治市)
- 愛媛県様 (松山市)
- 一般社団法人親切会四国支部様
- 泉美佐子様 (八多喜町)
- 清水星凜様 (長浜町)
- 西田千景様 (八幡浜市)

【順不同】

ひと言...

編集後記

目に青葉：新緑の爽やかな季節となりました。

春ですよ出会い出発

いい予感

本号は冬から春にかけての暮らしの一端を切り取って、ありのままを編集しました。

今回も多くの方々のご投稿を頂き発刊することができました。

ご協力に感謝します。